

比叡おろし

【詞・曲】松岡正剛

□□□

風は山から降りてくる
レタスのかごをかかえて
唇はくびれていちご
遠い夜の街を越えて来たそう
な
うちは比叡おろしです
ねん
あんさんの胸を
雪にしまえます

風は琵琶湖に落ちてくる
北山杉を下に見て
夕焼けはよそゆきマント
光る銀の靴をはいていた
そう
な
うちは比叡おろし
です
ねん
あんさんの胸を
雪にしまえます

風は今夜も吹いている
死んでは駄目よと言
いながら
さよならは小さな
みぞれ
そっと京都の町に
捨てて来た
そう
な
うちは比叡おろし
です
ねん
あんさんの胸を
雪にしまえます

比叡おろし

【詞・曲】松岡正剛

1.

□□■

風は山から降りてくる
シタスのかごをかかえて
唇はくびれていちご
遠い夜の街を
越えて来たそうな
うちは比叡おろしですねん
あんさんの胸を
雪にしてしまいますえ

比叡おろし

【詞・曲】松岡正剛

2.



風は琵琶湖に落ちてくる
北山杉を下に見て
夕焼けはよそゆきマント
光る銀の靴を
はいていたそうな
うちは比叡おろしですねん
あんさんの胸を
雪にしてしまえますえ

比叡おろし

【詞・曲】松岡正剛

3.



風は今夜も吹いている
死んでは駄目よと言いながら
さよならは小さなみぞれ
そっと京都の町に
捨てて来たそうな
うちは比叡おろしですねん
あんさんの胸を
雪にしてみますえ